おてんとうさま活動アニュアルレポート　2004年度版

KOAは、「循環」「調和」「有限」「豊かさ」を経営理念として、
循環型地域社会のモデルづくりを目指しています。

諏訪湖から遠州灘までの天竜川水系の中で「循環型地域社会のモデル」を創り出すのがKOAの環境活動の使命です。本図は、そのための様々な実験の枠組みを表しています。

KOA株式会社　会社概要

- ●本社所在地：長野県伊那市大字伊那3672
- ●創立：　1940年3月10日
  設立：　1947年5月24日（株式会社に組織変更）
- ●資本金：　60億3300万円（東証・名証一部上場）
- ●代表者：　代表取締役社長　向山孝一
- ●従業員数：　1,118名（2004年3月末現在）
- ●事業内容：　各種電子部品の設計開発・製造・販売
- ●環境管理責任者：　取締役　深野香代子
- ●ISO14001認証番号：　JQA-EM0155　（1998年4月～）
- ●内容問い合わせ先：　経営管理Ⅳ総務ｾﾝﾀｰ環境ｸﾞﾙｰﾌﾟ
  【tel　0265-70-7176（環境担当宛）】
  【 Mailto:gac-e@koanet.co.jp】
  【URL:http://www.koanet.co.jp】

＜おてんとうさまとは？＞

昔悪い事をすると「お天道様が見てるよ」「お天道様に申し訳ない」とおじいちゃん・おばあちゃんに言われませんでしたか？

先人達のお天道様を大事にする気持ち、そこから「お天道様に申し訳ないことをしない」「お天道様にも堂々と胸を張って報告できる活動にしよう」という思いを込めて、ISO14001環境マネジメントシステムに「おてんとうさま」という愛称を付けました。

ＫＯＡ環境方針　～ふるさとに循環型社会のモデルを創造する意志表明～

出発点

どうしたら地球と調和した生き方ができるのか。

理念

ＫＯＡは信州伊那谷に生まれ、育まれてきた企業です。お百姓がお百姓として自らのふるさとで生きていけるようにとの願いで、創立しました。

電子部品の製造に携わりながらも、土と水とおてんとうさまとのおつきあいのなかで学び、生きとし生けるものの一人として地球との間に信頼関係を築いていきたいと考えます。

社員一人一人が自分たちをとりまく水系の命の循環に関心をもち、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を自己責任のもと実践することで、わたしたちのふるさとに循環型社会のモデルを創造していきます。

方針

一、ＫＯＡが行う事業活動の環境に与える影響を的確にとらえ、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を構築し、「おてんとうさま」の継続的改善及び環境汚染の予防を図る。
（環境目的・目標を設定し見直す。）

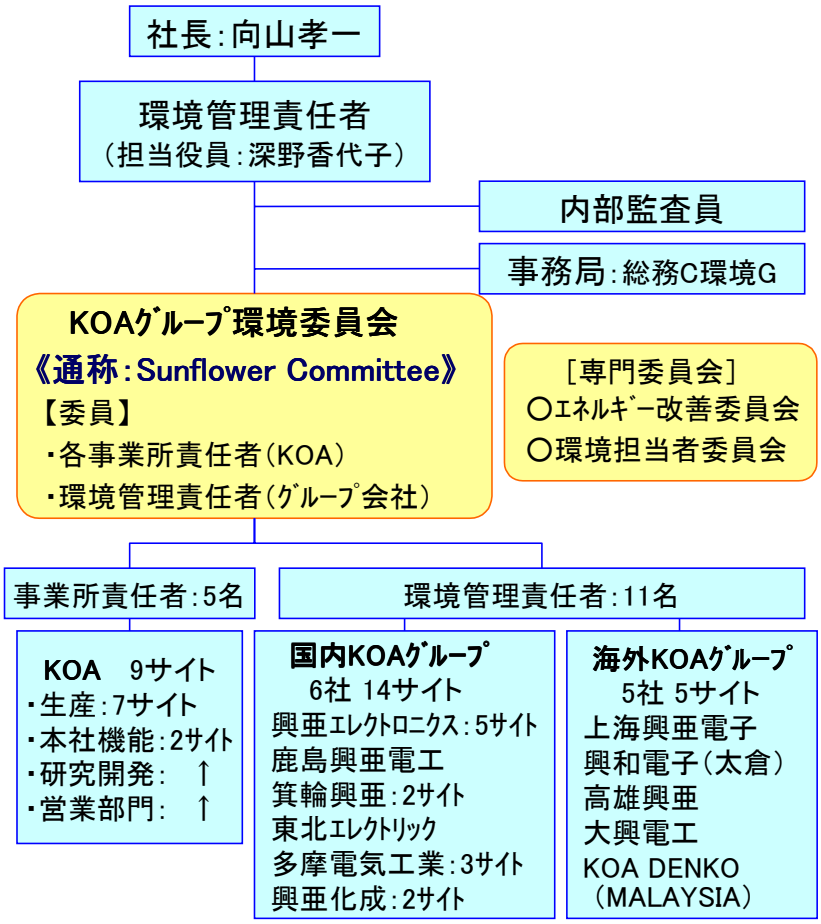
一、関連する環境の法規制、同意するその他の要求事項（お客様要求事項を含む）及び自主基準を遵守し、環境マネジメントマニュアルを基に全社員が自然環境に配慮した行動をする。

一、環境内部監査を実施し、自主管理による「おてんとうさま」の維持向上に努める。

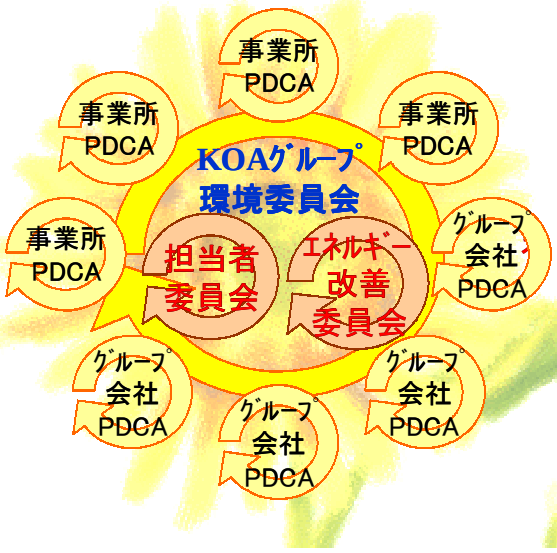
一、この環境方針は、ＫＯＡ及びＫＯＡグループに適用する。

平成１３年５月２１日
ＫＯＡ株式会社　社長　向山 孝一

おてんとうさま推進体勢　～グループで取り組む環境管理体制～



「KOAｸﾞﾙｰﾌﾟ環境委員会」は、KOAｸﾞﾙｰﾌﾟ全生産拠点（12社28拠点）がISO14001を登録した際、ｸﾞﾙｰﾌﾟの環境活動強化を目的とし、設置されました。
お天道様（ISO14001）を浴びて大輪の花（成果）を咲かせる願いで「ひまわり」の名前をつけた委員会《Sunflower Committee》となっています。
ｸﾞﾙｰﾌﾟ各社は、「KOAｸﾞﾙｰﾌﾟ環境対策指標」を統一指標に環境活動を行っています。



環境負荷状況　～KOAの環境負荷状況と、その環境負荷への対策～

KOAのマテリアルフロー（物質循環）図と環境負荷毎の対策
＜2003年度実績、（カッコ）内％・tは、対2002年度比＞

＜環境リスク管理：Ⅰ＞
環境事故をゼロを維持する改善活動

＜グリーン購入・グリーン調達の拡大：Ⅳ＞
環境負荷物質を入れない活動
環境に負荷の少ない資材を使う活動

＜ゼロエミッションの達成：Ⅱ＞
排出物総量削減
リサイクル率の向上

＜排出物リユース＞

【INPUT】

＜化学物質問題＞
購入原材料中の
環境負荷物質：37.8t

＜資源枯渇問題＞
エネルギー量
（原油換算）：8,543kl
・電気：　8％増
・重油：15％減
・灯油：　3％増
上水：77,422m3（25％増）

KOAの事業活動
抵抗器等電子部品の
設計・開発・製造・販売
（2003実績）

◎社外事故件数：0件
◎グリーン購入率
：90.1％（文具）
◎グリーン調達
：拡大中

【OUTPUT】

＜排出物リサイクル＞
リサイクル量：654t　（439t増）
含有環境負荷物質：8.9t

＜廃棄物問題＞
廃棄物量：167t　（346t減）
廃棄環境負荷物質：7.6t

＜化学物質問題＞
環境負荷物質環境中排出量
：11.6t　（大気・水質 排出量）

＜地球温暖化問題＞
エネルギー起源CO_2排出量
：13,875t-CO_2　（5％増）

環境負荷

＜製品＞
生産数量：20％増
含有環境負荷物質：9.6t

＜グリーン製品の実現：Ⅲ＞
・製品に含まれる環境負荷物質を使わない活動
・新製品設計で、環境負荷物質を使わない活動

＜CO_2削減：Ⅴ＞エネルギー改善による地球温暖化防止活動

＜クリーンプロセスの実現：Ⅲ＞
環境中へ環境負荷物質をださない生産工程の実現活動

＜KOAの環境負荷＞
「排出物」、「環境負荷化学物質」、「地球温暖化・資源枯渇」、「製品」、「設計・開発・製造」を重要な環境負荷として捉え、その対策として、5つの「環境対策指標」（下記おてんとうさま作戦Ⅰ～Ⅴ）により、継続的な対策を行っています。

【INPUT】：KOAの事業活動に投入される資源
【OUTPUT】：KOAの活動の結果、排出される物質

おてんとうさま作戦（環境目的目標）の実施状況

AC	長期目標	2003年度目標値	評価	2003年度実績
Ⅰ	環境改善活動の実施	①環境改善1つ以上実施完了	△	環境改善65件達成 ただし、社内異常2件：処理済み
Ⅱ	ゼロエミッションの達成	最終3ヶ月、レベル2基準リサイクル率99％達成	○	ゼロエミッション達成！ リサイクル率：99．8％ （1～3月リサイクル率実績） 1
Ⅲ	環境負荷物質削減による ・グリーン製品 ・クリーンプロセスの実現	鉛・その他臭素系難燃剤・六価クロム全廃	○	当社スケジュールに従い達成。 鉛レス化、アンチモンレス化が進展
		対象物質の5％削減	○	投入量：21％減、排出量：16％減 （生産数量原単位） ＊工程対策：洗浄方式見直し、メッキ液長寿命化等 2
Ⅳ	グリーン購入・調達の拡大	グリーン購入活動1点以上拡大	◎	39/全39対策達成 ＊グリーン購入率：90．1％
		グリーン調達拡大	◎	グリーン調達基準：取引先監査開始 ：4社実施
Ⅴ	CO_2を2010年度に基準年度比6％削減	対前年度CO_2量1％削減（全社原単位：生産数量）	○	＊前年比-15％（生産数量原単位） （目標値：昨年比-4％、 実績：目標値比-9％〈2月時点〉） 3

次頁に詳細を記載

長期目標を04年度へ継続

AC	2004年度目標値
Ⅰ	①事故ゼロ、②環境改善1件達成
Ⅱ	排出物総量を03年度比5％削減 （生産数量原単位）
Ⅲ	①環境負荷物質排出量を対前年比5％削減
	②グリーン製品・クリーンプロセス設計の仕組みづくりを完了
	③製品中の環境負荷物質削減
Ⅳ	①グリーン購入活動を一点以上拡大
	②グリーン調達活動拡大
Ⅴ	エネルギー起源CO_2を03年度比原単位で0.8％減

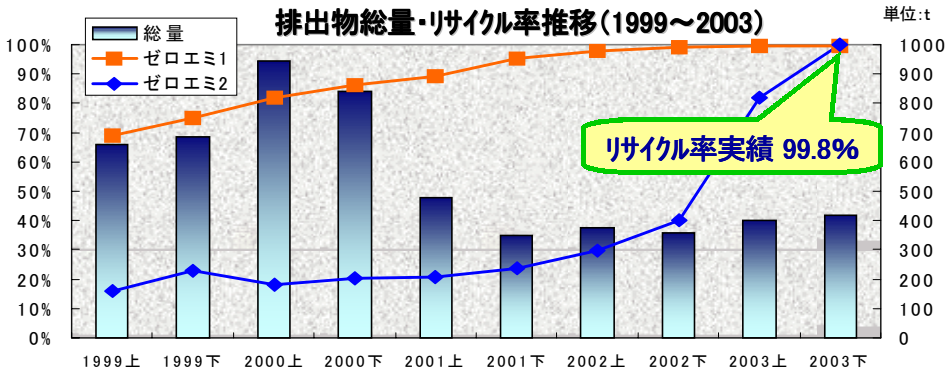
◎：100％達成、○：70％以上達成、△50％以上達成、×：50％未満の達成

おてんとうさま作戦の活動状況　～2003年度、ゼロエミッション達成！～

ゼロエミッション活動：排出物の99%以上をリサイクル化！

1

KOAは、2003年度末にゼロエミッションを達成しました。
一般廃棄物～産業廃棄物まで、全排出物の99%以上をリサイクル化！
資源を有効活用する循環型社会のモデルに一歩近づくことができました。



1997年焼却炉全廃からスタート → 2003年度末ゼロエミッションを達成！

コンプライアンス～法令遵守～

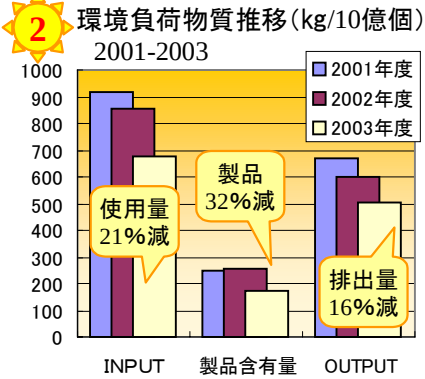
＜法規違反0件＞：KOAでは、40の環境法規・外部要求を管理しています。年1回の内部監査・外部監査で法令遵守活動を確認した結果、基準違反は、1件もありませんでした。

＜社外事故0件＞：2003年度は、社内事故が2件ありましたが、社外へ影響する事故はありませんでした。社内事故には、再発防止のため、グループ全事業所に再チェックを図っております。

＜土壌汚染自主調査開始＞：KOAは、数十年の歴史を持つ古い事業所が多いため、自主調査により、順次汚染の有無を確認予定です。

クリーンプロセス・グリーン製品活動：環境負荷物質削減

2

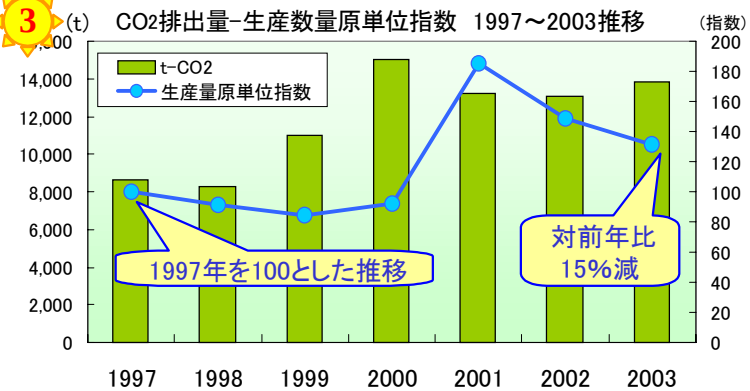


＜グリーン製品活動＞

- 標準製品を全て鉛フリー化。
- 指定製品のELV対応完了。
- RoHS指令への完全対応をいち早く目指しています。
- 包装材：お客さまとの間で通い箱化を進めるなど、お客さまの環境負荷低減に貢献しています。

CO_2削減活動：原単位排出量の削減

3



地域社会とのおつきあい　～人と地球と一緒に、地域と共に歩む活動～

「農的生活・KOA農園」
～自ら農的生活の実験を～

「農工一体」の創業の精神を受け継ぎ、自ら土に触れ、地球と地域の恵みの中で収穫の歓びを感じようと稲と果樹の栽培をしています。農作業を通じて、人は生態系にどう関わるべきか？どう関わることが本当の豊かさなのか？ひとつひとつ学んでいきたいと考えています。

「KOA森林塾®」
～森から学び森と共生する～

わたしたちがあるのは、水と緑豊かな地球のおかげです。
しかし、身近な里山が手入れされず荒廃する中、その里山に少しでも手を加えられるよう、山造りの技を後世まで伝えていきたい。そんな思いから森林塾が始まり10年間。今まで約300名の森林人を送り出してきました。

「地域社会報告会」
～一年間の報告に感謝の気持ちを添えて～

毎年6月、株主総会の後に、KOAを支えて頂いている地域の皆さまをお招きし、株主総会では伝えきれない、一年間の様々な活動結果をお伝えしています。

社長が説明させていただいております

「（社）リサイクルシステム研究会」
～水系の仲間との協同活動～

「天竜川水系循環型地域社会」の構築を目指し、産業（企業）の発展と自然環境の共生を図るため、KOAの呼びかけで1990年発足。現在は伊那谷の21社が参加し、企業～地域に広げた様々な環境活動を展開しています。

◎天竜川環境ピクニック
～毎年4000名参加の天竜川ゴミ拾い～
◎天竜川水系24時間水質調査
～天竜川水系の水質健康診断～
◎オフィス古紙 ⇔PPC用紙の循環回収システム

THE SOCIETY FOR RECYCLING SYSTEM

「（財）伊那谷地域社会システム研究所」
～子供達の未来のために～

これから21世紀を生きる人間にとっての最大の課題は、有限の自然環境に対し、いかに調和を見出していくかです。限りある資源を大切にし、生態系を乱さない生活のしくみを伝承し、その知恵を普及しなければなりません。そのためにも、環境に負荷をかけない技術研究に対する財源的基盤の提供、地域社会に対して自然と共に生きる循環型社会に関する啓蒙を行なっていくことが重要になります。（財）伊那谷地域社会システム研究所は、これらの活動に寄与することを目的として設立されました。